

新発田市 平成 30 年度 第 8 回定例記者会見

1 日 時 平成 30 年 11 月 2 日（金）午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

- イクネスしばた来館者 100 万人
- にいがたハッピーライフ 潟コン in 東京・六本木に出展
- 東京ヤクルトスワローズ野球教室
- 千年松の植樹イベント
- 写真の町シバタ「まちの記憶」スライド上映コンサート
- アームレスリング新発田大会 in 札の辻
- 東北の成功事例から学ぶ「ブランディング脳」講演会
- ふれあいオリンピック
- 2018 しばた人権フェスティバル
- 人権啓発講座「孤立や貧困を乗り越えるには NHK スペシャルの現場より」
- 市所蔵美術作品展「20 世紀新発田の美術グループ活動そして岡崎清郷の絵画」
- 新発田よさこい合同発表会
- 新発田マジック文化祭
- 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏婚活支援事業

あいさつ

- 11 月をもって 2 期目最後の定例記者会見になります。来月も市長という立場で、記者会見に臨みたいと思っています。
- 最近、元気がないのではないかという声をかけていただきました。しかしながら、おかげさまで、スケジュールがどんどん入ってくる状況です。いささか肉体は疲れていますが、気力は十分ですので、張り切って記者会見に臨みたいと思っています。
- 市長として 2 期 8 年を務めました。とりわけ、この 4 年間になりますが、一番大きな衝撃を受けたのは、新発田が消滅可能性都市とされたことから、2 期目が始まったということであります。まさに、人口減少との戦いから始まったと言ってもいいのかもしれませんが。

- 病気で言えば慢性疾患ということであり、人口減少社会は特効薬があるわけではありません。しかし、斜に構えるのではなく、真正面からこの問題に取り組んできました。それは迎え撃つだけのポテンシャル、潜在能力は持ち合わせていると信じたからです。
- そこで、「健康田園文化都市しばた」ということで、3本の柱、とりわけ「少子化対策」、あるいは「産業振興」、「教育の充実」という旗印を掲げてやってまいりました。
- 「健康田園文化都市」の「健康」とは簡単に言えば、命を大切にするまちということになります。これを、「少子化対策」ということで表現したわけであります。つまり、女性が子どもを産み、安心して育てられるまちにするということに尽きます。第3子以降の保育料の無料化、中学生までの医療費の無料化など、色々な施策を打たせていただきました。
- 食べていけるまちということでは、「産業振興」になります。産業の高度化を図りました。人のインバウンド、モノのアウトバウンドというのが、一番良い事例になるのかもしれませんが。産業のスーパーハイブリット化に取り組んだということです。
- 「教育の充実」では未来に投資をするまちとして、たとえ教育であっても見える化が必要だと考え、とりわけ学力の向上に注目し、全国学力テストでは、県下でトップクラスの成績をおさめるまでに至っています。
- このような3つの柱が総合的に作用してくれたおかげで、現在、新発田が選ばれるまちになっているのではないかと考えています。
- その証として、この4年間で10園の保育園・認定こども園を整備し、人数にして園児628人の定員拡大が必要となりました。子育て世代の皆さんが、この新発田を選んでくれている1つの証しになるのではないかと考えています。
- 1期目で撒いた種が、2期目でようやく実を結び始めてきたなと実感をしておりますが、まだまだ十分ではありませんので、ここで手綱を緩めるというわけにはいきません。しっかりと手綱を締めて、新発田を持続可能なまちとして、これからの礎を築いていくために頑張っていきたいと思っております。

- 与えられた課題の中に、市町村合併の総決算というものもあります。これについては、昨年の市制施行 70 周年記念までに「まちの顔づくり」として、アイネスしばた、イクネスしばた、ヨリネスしばたを完成させ、1 つの集約とさせていただきます。おかげさまで、まちなかの通行量が 11.5 % も増加したと聞いています。今後もこの点について、しっかり取り組んでいきたいと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「イクネスしばた来館者 100 万人」について

○平成 28 年 7 月 3 日にオープンした「イクネスしばた」の来館者が、去る 10 月 28 日に 100 万人に到達しました。

- これを祝し、11 月 23 日（祝）～24 日（土）の 2 日間にわたり、さまざまな記念イベントを開催いたします。

- 来館 100 万人目の方は、イクネスしばたの「こどもセンター」をよく利用いただいている親子連れの方だと聞いております。この方には、イベントの皮切りに行う、「100 万人記念セレモニー」にご出席いただく予定にしております。

- イベントとしては、小説やエッセイなどの執筆活動でも有名な作家・椎名^{しいな} 誠^{まこと}さんを講師に迎え、記念講演会を行います。

- また、日頃からイクネスしばた主催の料理教室に関わりのある、新潟調理師専門学校^{しなご}の先生・学生の皆さんなどを講師に迎え、小学生を対象に、ケーキのデコレーション教室を行うほか、イクネスしばたの運営にあたり、様々な面でご協力をいただいている、敬和学園大学の学生バンドによるジャズコンサートなども行います。

- イクネスしばたは、将来を担う新発田の人づくりを進めるために、教育・食育・育児の役割を担う施設として整備しました。

- また、新発田駅前をはじめとした中心市街地の活性化のため、まち・ひと・活動をつなぐ、拠点施設としての役割も持ち合わせています。

- 今後も、小さなお子さん、学生の皆さん、子育て世代の方々、そして、おじいちゃん、おばあちゃんまで、あらゆる世代の方々に、ご利用いただければと考えております。

○市といたしましても、引き続き、多くの市民の皆様に愛され、育まれる施設をめざしてまいります。

次に、「にいがたハッピーライフ ^{がた} 潟コン in 東京・六本木に出展」について

○昨年、新潟県出身の若者 300 人が参加した人気企画「にいがたハッピーライフ ^{がた} 潟コン」が、今年も東京・六本木で行われます。

- これは、新潟県の主催で行われるもので、首都圏で暮らす若者たちを対象に、Uターン、Iターンを促すために大々的に行われるイベントです。

- 元 ^{エヌジーティーフォーティーエイト} N G T 4 ^{きたはら り え} 8 の北原里英さんなど、新潟県ゆかりのスペシャルゲストが登場し、イベントを盛り上げるほか、新潟県のB級グルメや郷土料理、地酒などを取りそろえ、新潟の食を楽しんでいただくなど、都内にいながらにして、「新潟時間」を堪能できる内容になっています。

- 当市をPRするうえで絶好の機会でありますので、ブースを出展いたしますが、こうしたイベントでは行政の職員がPRを担当することが多いのが実情です。

- 当市では、若者同士で交流を深めてもらうことが効果的であると考え、新発田食品工業団地コンシェルジュ協議会の協力のもと、若い「しばた人」を代表して、食品工業団地内の企業で働く20代の方に参加いただき、新発田のPRに一役買っていただくことにいたしました。

- 当日は、この若手職員の皆さんが、自社で生産した商品を紹介しながら、PRすることはもとより、新発田で働くことの魅力について、参加者にお伝えし、産業面・雇用面のPRも図っていただくことにしています。

- 参加いただく若手職員の皆さんには、新発田で暮らす若者ならではの旬の話題を提供いただき、都内で暮らす若者たちに「しばた時間」を楽しんでもらうとともに、最終的には「しばたへの思い」に結び付けていただけるよう、取り組んでいきたいと期待しています。

次に、「東京ヤクルトスワローズ野球教室」について

- 11 月 18 日（日）に、東京ヤクルトスワローズの現役選手が当市を訪れ、市スポーツ少年団の野球チームに所属する子どもたちを対象に、野球教室を行います。
- これは、市内に事業所がある「新発田ヤクルト販売株式会社」から、地域貢献活動の一環として開催したいとの申し出があったものです。
- 野球を志す新発田の子どもたちにとって、プロの野球選手から直接、手ほどきを受けることは、またとない、夢のような企画であると思います。
- 当市では、「スポーツを通じた子育て」を主要施策に据え、取り組んでいます。また、今年度中には、旧松浦小学校の体育館を活用し、整備を進めている屋内多目的運動場が完成し、市民の皆さんのスポーツ振興に、より一層力を入れていきたいと考えているところです。
- そのような中、地元事業所との官民連携によって、ともに地域の子どもたちを育む機会が持てる今回の申し出を、大変嬉しく思っているところであります。
- 当日は、小学 4 年生から 6 年生まで、100 人ほどの子どもたちが参加する予定であると聞いています。参加する子どもたちには、ぜひ、この機会を存分に楽しんでもいただき、野球選手として成長するきっかけにしてもらいたいと思っています。

次に、「真野原外自治会 千年松の植樹イベント」について

- 地域における植樹活動の取り組みについて、紹介します。
- 11 月 17 日（土）、紫雲寺地区の真野原外自治会が主体となり、地元の商工会、小学校、企業に協力を得ながら、かつて地域の宝であった美しい松林を復元することを目的に、植樹活動を行います。
- 当日は、清湊公園脇の山林を会場に、松くい虫の被害にも耐性があると言われる「にいがた千年松」の苗木、約 250 本を参加者全員で植樹するとのことです。

- この活動は、子どもたちに緑豊かな環境を継承することを目的に活動する市民団体等に対し交付される、公益財団法人 都市緑化機構の助成制度を活用して取り組んでいるとのことであります。
- 助成を受けるための事務手続きについても、真野原外自治会が主体的に行い、植樹後の維持管理も同自治会が担当します。たくさんの労力を要する活動ではあるものの、地元の子どもたちに植樹の意義や環境保全の大切さについて伝えたいという願いのこもった取組です。
- まさに、地域の活動に必要とされる、自助、互助、共助の考え方が備わった素晴らしい活動であると思います。
- 市内における松の再生活動は、当市としても重要な課題であることから、市民レベルでもこうした活動が広がりをみせ、いつの日にか風光明媚な松林が復元され、未来の子どもたちに、より良い環境を受け継ぐことのできる活動となるよう、期待をしています。

このほかの情報としては、昔、市内各所で撮影された写真を紹介し、かつての新発田のまちの様子をお楽しみいただくイベント「写真の町 シバタ・まちの記憶」のほか、ヨリネスしばた札の辻広場などで行うイベント 3 件を紹介します。

また、12 月 4 日（火）からの人権週間に先立ち、人権について考えてもらうため、「しばた人権フェスティバル」と講演会 1 件を開催します。

そして、芸術・文化に触れていただく毎年恒例のイベントとして、「市所蔵美術作品展・20 世紀新発田の美術グループ活動そして岡崎清郷の絵画」のほか 2 件の催しがあります。

最後に、当市と胎内市・聖籠町が連携して行う婚活イベント「恋するクリスマスパーティー」があります。

一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。